



男女共同参画・多様な視点を取り入れた防災体制づくり  
 ↳ 誰一人取り残すことなく命を守るために、

## 防災対策に多様な視点を



古河市男女共同参画  
推進会議委員  
おおつか しんのぶ  
大塚 忍さん

このような研修をと  
おして、防災に多様な  
視点を取り入れていく  
ことが重要であること  
を多くの人に認識して  
もらう必要があります。

## 災害時の行動計画を作ろう

大雨や台風時の逃げ  
遅れ防止のため、自分  
自身が取るべき行動を  
時系列的に整理してお  
く「マイ・タイムライ  
ン」を作しましょう。



防災士  
女性消防団員  
つるみ えつこ  
鶴見 悦子さん

## 事前に災害時のニーズ把握を

高齢者等の見守りの  
際は、災害時のニーズ  
を把握しておくことが  
大切です。災害が起き  
る前に、何ができるか  
考えておきましょう。



民生委員・児童委員  
すずき しげこ  
鈴木 茂子さん

## パネルディスカッションでの意見をご紹介しします

令和6年9月28日、野本電設工業コ  
スモスプラザにおいて、埼玉大学ダイ  
バーシティ推進センターの瀬山紀子准  
教授を講師に迎え、「ジェンダー多様  
性の視点からの防災対策の必要性」を  
テーマに防災研修を行いました。  
第一部の講演会では、年齢や性別、  
国籍、障がいの有無など、一人ひとり  
社会的背景が違う事を前提とした防災

対策の必要性や、被災当事者の困難を  
把握することで、今後の防災に活かす  
ためのヒントを学びました。  
第二部では「みんなで考える 新たな  
防災の形」をテーマに、過去の災害時  
の経験や不安から見えてくる古河市の  
課題に対し、一人ひとりができること  
について、それぞれの立場からパネル  
ディスカッションを行いました。  
平常時に脆弱な立場に置かれた人ほ  
ど、災害時には大きな影響を受けるこ  
とになります。日頃から、多様な視点  
による防災について考えてみませんか。

# ひとと うた 男女の詩入賞作品が決定しました

全入賞作品は  
こちら



男女共同参画やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する作品を募集し、市内外から665作品の応募をいただきました。一次選考で選出された作品から、令和6年10月に行ったお祭り来場者による投票およびWEB投票により、入賞作品を以下のとおり決定しました。

## 小・中学生の部

最優秀賞

め まえ  
目の前にいるのは、  
たいせつ ひと  
だれかの大切な人  
やさしいことばで はなしてね。  
ふじい あおと  
藤井 葵翔さん/小学2年

優秀賞

たようせい すてき  
多様性 それは素敵な  
こせい  
あなたの個性  
つかはら みらい  
塚原 美来さん/小学6年

優秀賞

わたし わたし  
私は私、あなたはあなた。  
た ぶぶん おぎな あ  
足りない部分は、補い合う  
すずき ななこ  
鈴木 菜々子さん/中学1年

## 一般の部

最優秀賞

たす あ  
助け合い  
おぎな あ  
補い合って  
ひと  
男女となる  
ペンネーム しんのすけさん

優秀賞

せいべつ  
性別ではなく  
ひとりひとり とくい こせい  
一人一人の得意や個性を  
しかい  
いかせる社会へ  
こんどう みのぶ  
近藤 己順さん

優秀賞

だんじょ こ むが にんげんせい  
男女を超えて 磨く人間性  
かがや こせい  
輝かす個性  
さき あ たようせい  
支え合う多様性  
ペンネーム もふもふさん

## 男女共同参画古河市民ネットワーク(ゆめこらぼ)登録者募集



すべての男女が互いに尊重しあい、共に手をたずさえ、一人ひとりが自分らしく輝き心豊かに生活できる社会を実現するために、市内で活動する団体、個人がイベント等  
での啓発活動を古河市と協働して行っています。私たちと一緒に活動してみませんか？

詳細はこちら

